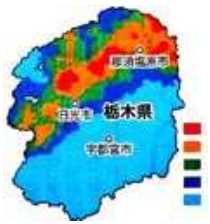
放射能から子どもを守り
１人の被ばく者も出さない

〈日光･放射能から子どもを守る会〉2012.05.25//no.30

人々に放射能汚染、危険を知らせず！
広報「にっこう」に「放射能」の文字なし!!?
怖い、不可解な「放射能汚染」隠し



赤10～30万,黄6～10万
緑3～6万、紺1～3万
水色～1万　ベクレル/㎡

地表面セシウム汚染地図
2011.08．02現在換算値

日光市では、怖いことが起こっています。日光市の広報誌『**にっこう**』は、去年の震災以降、多くの人が不安な放射能汚染関連の情報が掲載されていません。市は、広報の代わりに「チラシ」を配布していますと言うでしょう。しかし、広報に『**放射能**』『**放射線量**』『**汚染**』『**除染**』などの言葉さえ1度もありません。どこかで誰かが意識的に指示しない限り、起こり得ないでしょう。

市民からは、「観光優先で『安全』なんでしょう」「子どもたちや市民の健康なんて考えていないよ」「市は放射能が見えないから隠せると思っている」「放射能は、隠せば隠すほど危険だ」「戦時中と同じだ、目隠しだよ」･･･と、日光市の放射能汚染の危険性隠しへの不信と怒りの声を聞きます。中には、「気が付かなかった」と言う人もいました。さらに、「もう、政府や市は信用してない」「市長も議員も選挙のときだけ…」との声です。

＊　＊　＊

日光市は、環境省への除染実施計画の協議書に、「空間放射線量率の測定結果、及び、除染の実施状況や除染による効果については、広報誌やホームページ等で随時公表します」と。また、「環境課に除染情報は、どうすれば手に入りますか」と聞くと、「広報にと思っています」と回答。しかし、突き詰めると掲載する予定なしです。「チラシ」を配布するようです。日光市広報誌には、放射能問題はタブーなのです。

広報誌「にっこう」に唯一1度、『放射能』の文字発見!!2011年5月号

〈市民の皆さまへ　日光市長　斎藤文夫〉･･･今、市内の各観光地は、**放射能**などの風評により、深刻な状況に置かれております。日光市は、水も空気も、観光地としても安全です。今後、本市の安全性を市内外に広く周知してまいります。市民の皆さまは、過渡の心配をなさらずに、冷静な行動をおとりください。･･･〈これが市民無視の姿勢!〉

風が吹くときは
マスクをしよう!!
布団干し、洗濯物は室内で

風の吹く日は地表の放射性物質をまきあげ
それを吸い込み、内部被ばくの危険が高まります。布団･洗濯物に放射性物質が付いては困ります。チョッとの注意の心がけを！

日光市の該当するゾーンは？

❑チェルノブイリ･ゾーン　❑〈1999.ナスビット論文より〉

①　移住義務ゾーン	5mSv/年以上
②　移住権利ゾーン	1 mSv/年以上
③　放射能管理強化ゾーン	0.5 mSv/年以上

②移住を希望すれば資金など支援。
③厳重な放射能汚染対策を実施する地域。

❖年1mSv/時 0.114μSv/公衆被ばく限度基準/ICRP
*内部被ばく含まず、成人対象/妊婦、乳児など敏感無視

❑ 政府の放射能除染基準//毎時0.23μSv ❑
〈日常生活で8時間以上屋外活動禁止が前提、* など〉
❑栃木県原発崩壊前//0.038～0.044μSv/h❑

日光市放射能汚染分布

2011.10.03-12 調査/日光市
測定地上 50cm
マイクロシーベルト/以上～未満

0.1 未満	1ヶ所	0.2%
0.1～0.2	155ヶ所	28.8%
0.2～0.3	187ヶ所	34.8%
0.3～0.4	152ヶ所	28.3%
0.4～0.5	30ヶ所	5.6%
0.5～0.6	10ヶ所	1.9%
0.6～0.7	2ヶ所	0.4%
0.7～0.8	1ヶ所	0.2%

〈News〉日光市は「水」も「空気」も「食べ物」も安全でした〈日光安全だった宣言〉

❑**那須塩原市**//小中学校-全施設で放射線減る/すでに昨年の夏から除染をはじめ、3月までには平均0.18μSv/hに減少。〈下野0522〉　❖**日光市**は、現在も1μSv/h以下は安全と除染なし。やっと今年夏に除染計画。**どちらが子どもを大事にしています？**

❑「山村留学でコテージ生活」東京大田区から小学4年生の女の子、NPO法人国際自然大学校日光霧降校が受け入れ、日光小学校に3か月まなぶ。〈下野05.22〉
霧降校は、0.28μSv/h、日光小学校は除染対象校0.25μSv/h。なぜ？怖いです！

❑**汚染**//コシアブラ/さくら市//ミズナ/那須塩原市//ワラビ/サンショウ/大田原市
荒茶/鹿沼//永年牧草/那須町、矢板市、塩谷町//　　**山菜も、気をつけましょう！**

❑**栃木県産輸入規制//汚染地帯の現実**です。逆の立場で考えてみてください。
❖中国/全ての食品、肥料の輸入停止　　❖韓国/ホウレンソウ、きのこ、肥料など輸入停止/その他全食品は、放射性物質検査証明書の要求〈下野05.16〉

放射能は危険　放射能汚染地帯で生活続けるチエ

❑全食品、食材の検査が大事です。行政の責任でやるべきです。
基準値以下でも、特に、子ども、女性、若者には食べさせない。汚染ゼロを!
食べるものは、汚染されていない県、地域のものに心がけましょう。
同産地、同じ食品は食べ続けない。全ての放射線量測定をして安全が確認できない中では、汚染されるものを食べ続けないためのチエです。

❑うららかな春。花壇、家庭菜園、楽しみですが土は汚染されており、避けたいです。
もし、やるとすれば、手袋、マスクをしてください。終わった後は、よく手を洗い、うがいをしましょう。服や靴の土･ほこりなどを取ってください。

❑放射能の危険から子どもを守る//高い線量の場所には近づかない。マスクをする。
「保養」「一時避難」「疎開」「移住」など考える。相談体制を検討。行政の支援要求。

❖チラシ･バックナンバー見られます//PDF　http://atsugichild.web.fc2.com/

〈日光･放射能から子どもを守る会〉tel･0288-26-0130//nairamdal-1871@dream.jp

放射能汚染の中で暮らす子どもたちを憂う －4

驚き！関東の野菜は普通に店頭に！

ドイツから「ふるさと日光へ」/ Baum

ヨーロッパでは、関東圏の食物はいまだに輸入禁止になっています。風向きで、関東圏のものはすでに汚染されていると知っているからです。日本政府もそれは知っています。だから、無理やり500ベクレルに基準値を引き上げて、店頭に汚染食品を並ばせました。

500ベクレルはありえないほど危険な数値です。でも多くの人はそれを知りません。

いくつか日光のスーパーも見てみましたが、さすがに福島の物は置いていなかったものの、関東の野菜は普通に店頭に並んでいて驚きました。店の前に「特価」と書かれてある千葉産の大量に積まされた大根が、あまりにも虚しく目に映りました。何も知らない人は、安いからと買うのでしょう。もちろん、ベクレル数は低いかもしれませんし、検出されていないのかもしれません。でも、「分からない」のです。500ベクレルだから、それ以下だから安全、というのはウソなのです。（現在100ベクレルでも安全ではありません）

海の汚染も最悪です。太平洋沖のものは、もう控えたほうがいいと思います。もうすぐ汚染水はハワイに着くそうです。ドイツでは、「20年後には世界のマグロは食べられなくなるだろう」という推測もされています。それほど汚染は世界規模で深刻なのです。

＊　＊　＊

国民はちゃんと食物を選ぶことで、国に訴えることが大事だと思います。確かに関東の農家の方には酷な話です。死活問題です。国はそれに責任をもって保障するべきです。「風評被害」「被災地支援」という言葉に踊らされ、汚染食品を口にするのもそれはもう個人の選択でしかありません。他人がとやかく言えるものでもありません。でもそれによって内部被ばくをして、何年か後に病気になったところで、誰も助けてはくれないのです。まして政府はあてにならないでしょう。

日光市は放射能汚染地帯！〈雨どい地上 1cm〉-6　❑森　友❑（5月）

＊Fさん宅	毎時 2．354マイクロシーベルト	＊Gさん宅	0．939/μSv/h-玄関
＊Hさん宅	2．338μSv/h	＊Kさん宅	1．095μSv/h
＊Lさん宅	0．963μSv/h	＊Nさん宅	8．351μSv/h

❑幼児、子どもなどは、日光市内に5年、10年‥住み続けると健康への危険が高まる no19
❑日光市内観光業者は、東電から損害賠償金56億6千万円受理（03.05時点）　no21
❑日光の線量値 3月9日からなぜかグ～ンと低下-文科省 高精度測定器-自動化 no21
❑日光市放射能汚染分布(2012.02-03) アスファルト測定で平均線量24％減少と誤魔化し安全宣言？日光のセシウム合計は半年で約7％減少し、それ以外はどこかへ移動！

横浜での学校給食は、汚染ZEROを目指して

「冷凍みかん」「いわし」が使用中止に！

2012.05.20-横浜//藤野

横浜市の学校給食は、今、全国で一番神経を使ってくれていると思います。昨年からは、考えられないほどスピーディーに「セシウムが検出されたので使用を中止しました」のお知らせが届きます。

今月は、「冷凍みかん」「いわし」が使用中止となりました。冷凍みかんは関東のかんきつ類は、いくつか汚染が確認されています。

また、約 200 件近い市民の不安の声が教育委員会へあったそうです。それを受けて市独自で検査をせずに使用を中止しました。市長は、放射線対策本部で話し合いもなく使用を中止したことを非難めいた口調で言っていました。しかし、保護者の不安に対応することを優先してくれた給食課に拍手を送りたいです。

＊　＊　＊

横浜市民測定所では、横浜のかんきつ類を測定しましたが、セシウム合計で 20～30Bq/kg くらいは出ます。ちなみに柏市の夏みかんで 200Bq/kg 以上でした。また、イノシシや山菜は出ますね。横浜でもタケノコはほとんどが検出されます。

風通しがよく、水はけもよく、日が当たる場所のタケノコは、汚染が低い傾向があります。タケノコの部位によっても違うようです。よかったら実験ルームをみて下さい。

http://www.ycrms.net/category/laboratory

まだタケノコがあるようでしたら、大きいもので 3～4 本程度あれば測定できます。皮を剥いた状態で1キロ以上欲しいです。横浜以外の地域のタケノコも測定してマップを作りたいという熱心な測定員さんがいます。　〈希望者は連絡ください 26-0130〉

〈放射能の危険!〉見たり聞いたり話したり

❑ 家庭菜園の野菜安全かどうか心配畑を測ってください。農家は、カリウムを無料でもらっている。市は、私たちには何もしてくれないし、教えてくれない。どこでも山菜が食べられないし‥‥

❑ 直売所で「これは検査してありますか。安全ですか」と聞くと、白い目で見られて、いやな思いをした。

❑ 木和田島でも森友でも、多くの地域が広いので、地区でも何点か農産物の測定してほしいです。

❑ 最近、若い人は山菜を食べなくなってきているから、ずっと私らしか食べない

❑ 年寄りの私達が食べるようにして、息子や孫には送らないようにしている。

❑ 山菜が放射能出ているということは、畑のものだってZEROじゃないでしょう。

❑ 市がどんどん検査をしてくれればいいんだけど‥‥駄目だネ!

❑ 考えると食べる野菜が無くなっちゃいますね。